

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年7月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DEAR+ COMICS 業務上過失ポルノ</p> <p>令和2年6月15日発行</p>	<p>性器の消しが問題。全裸での性行為のシーンもある。指定該当</p> <p>ストーリー性はあるが、性器部分の修整がほとんどなく、また体液描写が多く極めてひわい感がある。指定該当</p> <p>ストーリー的にも人格否定的なところがなく、卑わい感はない。ただ、性器の形状はかなりはっきりしていて、露骨な印象を与える。指定該当</p> <p>最初は仕事上の展開がなされていたところ、急展開で性描写になっていった。なによりも男性器がリアルに描かれており、中盤や後半は少なくなるものの消されていない。絵はキレイだと思うが指定該当</p> <p>該当箇所については「全編大部分」とあるが性交シーンのあるページの一部分に集中していると考え。性器の消しは甘く、消しの線が何本か引かれているが、8～9割露出していて、逆に強調されている感じを受ける。指定該当</p> <p>ドラマは丁寧に作られており、卑わい感が先行しない。しかし、性行為の場面においては、性器の修整を施すよりも性器を中心に演出している印象を与えており、成人向き。指定該当</p> <p>擬音、体液描写などはおさえ目で絵もうまく、ストーリー性もそこそこあると思うが、性器描写が露骨すぎる。性器を描き、白い帯で部分的にかくすという手法だが、血管が描かれていたりリアル。描き方も大きいページがある。全体の描き方は擬音、体液も少なく、悪い印象ではないので残念。指定該当</p> <p>編集部内でのセリフもよく取材されて中身が濃く、WEBとのメディアミックスの企画内容、週刊誌編集者からポルノ編集者に担当が替わってからの葛藤、子供を作れず破綻する婚姻関係におけるキャラクターの心理描写等、作品の完成度は高く作者の力量を感じる。ただ、残念なことに性器の修整がほぼなされておらず、区分陳列やむなしと考える。指定該当</p> <p>業界もので、お話はしっかりしている。白帯での消しだが、血管が見えているところがあり、消してないところもある。描写は少ないが、指定該当</p> <p>画力、ストーリー展開など、非常に読みやすく、完成度の高さを感じる。だが、男性器の消し方が白フチ線の数本で消すやり方で、さらに血管までリアルに描いてあり、登場回数の多さも青年レベルをこえている。指定やむなし。</p> <p>コミカルな面もあり、ストーリーとしても読める内容。付箋を貼るほどの描写ではないページがいくつか見受けられるが、性交シーンとなると性器がリアルに描かれており、付箋状に隠してはいるが配慮しているとはいいいがいたい。指定該当</p> <p>全て合意の上での平和的な性交が描かれており、人格否定はない。むしろテーマの中に「ゲイ」→「擬装婚」→「妊活・ED治療」→「離婚」といった社会的な視点が盛り込まれており価値ある表現と言える。しかし、性器の消しがあまりに少なく、許容しがたい。指定やむなし。</p> <p>性器の修整が白線を数本入れるだけと甘く、形状が分かる。ストーリーは非現実的な分リアルさはなく著しく性的感情を刺激するまでは至らない。保留</p> <p>男性の性器修整が甘いものの、卑わいな感じも人格を否定するようなシーンもなかった。保留</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年7月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno! ウサギちゃん、どシコリ申し 上げます</p> <p>令和2年3月20日発行</p>	<p>絵はコミカルで設定にリアルさがなく、性器部分も修整が為されているが、擬音、体液描写が多く、卑わいである。指定該当</p> <p>全編にわたり性交描写のみを目的としたもので卑わい感が強い。指定該当</p> <p>3つのストーリーすべてにおいて性描写が多く描かれている。1対1の関係で暴力的なものはないが、性器の描き方はリアルではないもののやはり多い。指定該当</p> <p>性器を修整しようという配慮は感じられるが、修整されているとはいえ、性器が描かれているコマ数が多い。ドラマ作りは問題ないと思うが成人向き。指定該当</p> <p>ややコミカルな内容で絵も上手く、感じ良いタッチ。性器も白いダンゴのように見える絵もあり、修整に気を配っているのが分かる。擬音、体液もさほどではない。だが、絵が上手いため、逆に行為の様子がよくわかりリアル感がある。肛門への指の挿入シーンなどもよく見えてしまい、解剖図的な描写も描きすぎの感じがある。指定該当</p> <p>性器の消しはしっかりしているが、形がわかり強調しているようになっている描写が多い。2作目は高校生であり、未成年の行為を激しく描写しており、消しも薄くなっているように思う。指定該当</p> <p>シチュエーションを主体にしたコミックスで画力もあり、読みやすかった。ただ、物語よりも性行為を主体にしている展開で、その中で男性器の消しが甘く、比較的アップでの登場回数が青年レベルをこえている。指定やむなし。</p> <p>全体的に性交シーンが目につく中、性器が必要以上に目立つ。処理している様にも見えるが露出が多くてかえって卑わい。指定該当</p> <p>見ていてそれほどいやらしくない。消しもまあこんなもんだろうという感じがする。保留</p> <p>コミカルなタッチで強制的な感じはなく人格否定もない。全体的に性交シーンが多いように感じられるが、総合的に判断し、指定非該当</p> <p>一部結合部の断面を描写した箇所が見受けられるが、性器には確実に修整が加えられており、形状もはっきり分かるというものでもない。特に人格否定に該当する箇所も見受けられない。また、画のタッチからか卑わいな感じを与えるとまでは言えない。指定非該当</p> <p>男性向け性風俗店での出会いが純愛に発展した内容であり、双方の合意の上で性行為が行われており、暴力性は感じない。性器の修整もギリギリ許容範囲ではないかと思える上、実際に性器を挿入しての性行為は比較的少ない。指定非該当</p> <p>暴力や薬物、あるいは器具による性交の強要はみられず人格否定の表現はない。絵柄も大味にまとめられており、卑わい感を感じられなかった。性器の消しについては甘い部分もあるが質感を消す配慮はあり許容できる。指定非該当</p> <p>男性器の修整がギザギザに加えられている。卑わいな感じを与え、人格を否定するとは容易に連想できない。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年7月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
3	<p>KiR comics 濡れトロ3P 大人のオモチャモニター 上</p> <p>令和2年2月29日発行</p>	<p>絵はコミカルなものの、擬音、体液の描写が多くある。また複数での性交等があり、倫理的にも問題である。指定該当</p> <p>金銭的な立場を利用して、人を性的対象としてもてあそぶもので人格否定的。器具の使用も多いのが気になる。指定該当</p> <p>モニターになっている人物が少しコミカルだったり、2人を受け入れている感が出ている。性器も白くなっているがオモチャの使用や結合の時はわりと局部がオープンに描かれている。指定該当</p> <p>もともと擬音と汗を含む体液描写が多い作家だと思うが、それを差し引いても、性行為の描写において読みづらくなるほど擬音と体液が多い。人格否定はないものの、設定とはいえ性器を中心とした器具描写が多い。性器の修整は一定程度なされているが、総合的に判断して指定やむなし。</p> <p>性器は白抜きで外形も分かるが、さほどリアルではない。絵は上手いものの、細々と描くので絵を判別しにくい。だが、いきなり器具使用シーンが描かれ、行為への入り方も強引。大きな男2人が小柄な少年を凌辱する場面が連続する印象。指の挿入も露骨で擬音、体液も卑わい感がある。指定該当</p> <p>性的玩具のモニターという設定上、器具を使用しているシーンが多い。とはいえ、同意の上での性行為であり、違法性や暴力性は感じなかった。ただし、作品後半になってゆくに従って、性器の描写が精密になり、また体液描写も著しい。前半部分の内容であれば、非該当ではないかと感じたが後半部分の描写の過激さを考慮し指定やむなしと考える。</p> <p>大人のオモチャのモニターで、お金のためではないといいながら、お金のためである。人格否定にあたるかは慎重にならないといけないが、強制ともとれる場面がある。性器は消しているが形がわかるものもある。指定該当</p> <p>画力や物語構成、展開など女性読者が好きなツボをしっかりとおさえているすてきな作品だった。男性器の消し方もやや甘めであるが、ギリギリセーフ。だが、帯でもうたっているように、「大人のオモチャ」がメインであり、自然と男性器もたくさん描かないと意味がない。総合的に判断して青年レベルはこえてしまったかと思う。指定やむなし。</p> <p>複数での性交、器具の使用が描かれており、性器は白抜きだが輪郭がわかる。体液、精液描写も激しく、擬音も多くて卑わい感を後押ししている。指定該当</p> <p>白消しは性器の形が浮き出ているが、全体的にそういやらしくもない。性的行為もあるが露骨でない。保留</p> <p>タイトルに3Pとあるが、メインの登場人物3名のキャラクターの描き方がはっきりしていて、大人2人と少年1名のように見えてしまうため、おもちゃやローションの使用が卑わいに映る。ただ全体的に画力があり、ストーリー性もある。保留</p> <p>性器は確実に白抜きで修整が加えられている。器具の使用、電車やトイレといった公共の場所での性的行為を描いた箇所がある点は気になる。人格否定に該当する箇所は特に見受けられない。保留</p> <p>性器に器具を装着し、その存在を際だたせているものの、白抜きの修整は徹底しており、配慮を評価したい。拒絶を示す人物に器具をもって迫り性交を求める部分は人格が尊重されていないと見る向きもあるかと思われるが、基本的に合意の上友好的な性交である。判断が極めて難しいが指定非該当</p> <p>男性器の修整は白抜きとなっている。卑わいな感じを与え、人格を否定するとは容易に連想できない。指定非該当</p>